

- 問1 熱帯に属する地域のうち、一年中雨が多い熱帯雨林気候では密度が高い森林が広がりますが、サバナ気候では「丈の長い草とまばらな樹木」という景観になります。このように植生に違いが生じる理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- 常に強い風が吹いているため、背の高い樹木が折れて草原になってしまいうため
 - 土壌に塩分が多く含まれており、特定の草以外の植物が育ちにくい環境であるため
 - 一年を通して気温の変化が激しく、冬の寒さに耐えられる樹木しか育たないため
 - 一年の中に降水の少ない乾季が存在し、樹木が密集して成長することが制限されるため
- 問2 一年を通して月平均気温が28度前後と高く、降水量も非常に多い熱帯雨林気候の地域で見られる、伝統的な木造住居の構造に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- 壁を厚い石やレンガ造りにすることで、外の熱気が室内に伝わるのを防ぐ工夫
 - 窓を極端に小さく設計することで、外からの強い日差しと熱風を遮断する工夫
 - 床を低くして地面に密着させることで、地面の冷たさを室内に伝える工夫
 - 床を高くすることで風通しを良くし、地面からの湿気の影響をやわらげる工夫
- 問3 世界の気候帯のうち、最も気温が高い月の平均気温が10度を下回るために、樹木が成長して森林を形成することができない気候帯を何といいますか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- 乾燥帯
 - 亜寒帯（冷帯）
 - 温帯
 - 寒帯
- 問4 西アジアから北アフリカの諸地域における宗教的特徴を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- 厳しい修行を通じて悟りを開くことを重視し、東アジアの国々で主に信仰されている。
 - ガンジス川などの聖地を中心とした信仰を持ち、牛を神聖な動物として尊んでいる。
 - 複数の神を認める多神教が主流であり、社会階級制度などの構造に強く影響を与えている。
 - 唯一神アッラーを信仰し、聖典コーランに基づいた生活文化が根付いている。
- 問5 アラブ首長国連邦において、国教ではないヒンドゥー教の信者が人口の約2割という高い割合を占めている理由として、最も適切な説明を選んでください。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- 経済発展に伴い、インドなどから多くの外国人労働者が流入しているため
 - 政府が観光客を誘致するため、ヒンドゥー教への改宗を奨励したため
 - 国内の少数民族が、古くから独自の信仰としてヒンドゥー教を守っているため
 - かつてインドの植民地であった時代の影響で、宗教文化が定着したため
- 問6 アフリカの国々の中には、モーリタニアにおけるフランス語の使用とフランスからの経済協力、ギニアビサウにおけるポルトガル語の使用とポルトガルとの結びつきのように、特定のヨーロッパ諸国と密接な関係を持つ例が多く見られます。このような関係が生じる主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- かつての宗主国とその植民地という歴史的な関係があり、独立後も言語や経済面での結びつきが維持されているため
 - 地理的な距離が非常に近く、周辺国との貿易よりも輸送コストを低く抑えることができるため
 - 同じ宗教を信仰する人々が多いため、宗教的な連帯感に基づいて経済的な支援が優先的に行われているため
 - 国際連合の決定により、ヨーロッパ諸国はアフリカの特定の国々を永続的に支援する義務を負っているため
- 問7 東南アジアに位置するタイの首都バンコクでは、月平均気温が一年を通して25度以上と高く、降水量については5月から10月にかけて大幅に増加する一方で、12月や1月にはほとんど雨が降らないという極端な変化が見られます。このような気候の特徴が生じる背景として最も適切なものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、湿った空気が流れ込む時期と乾燥した空気が流れ込む時期が分かれるため、雨季と乾季が生じる。
 - 赤道直下に位置しているため、一年中強い日差しによって上昇気流が発生し、毎日午後にはスコールと呼ばれる激しい雨が降る。
 - 暖流と偏西風の影響により、緯度のわりには冬の気温が下がらず、一年中安定した降水量がある。
 - 中緯度高圧帯の影響を一年中受けるため、気温は高いものの水蒸気が供給されず、年間を通して極めて乾燥する。
- 問8 世界の諸地域における宗教の広がりについて述べた次の文のうち、パキスタンにおいて総人口の96.5%という極めて高い信者数の割合を示し、西アジアや北アフリカで広く信仰されている宗教として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- キリスト教
 - ヒンドゥー教
 - 仏教
 - イスラム教
- 問9 「夏に雨が少なく、冬に雨が多い」という地中海性気候の特性に合わせて、イタリアなどの地域で古くから発展してきた農業の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- 夏の乾燥に強いオリーブやブドウ、オレンジなどの果樹栽培を行う。
 - 冷涼な夏でも育つジャガイモやライ麦を主に栽培する。
 - 夏の豊富な降水を利用して、米と小麦の二毛作を行う。
 - 一年中平均して降る雨を利用し、家畜の飼料となる牧草を栽培する。
- 問10 冷帯（亜寒帯）の気候に見られる「年較差」という言葉の説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- ある地点の年間降水量と、年間の蒸発量を比較した数値の差のこと。
 - 一年の中で最も平均気温が高い月と、最も低い月の気温の差のこと。
 - 一日のうちに最も気温が高い時間と、最も低い時間の気温の差のこと。
 - 平年の気温と、その年の実際の気温との間に生じた数値の差のこと。
- 問11 赤道付近に位置する高山気候の地域では、1年を通して気温の変化が小さく「常春」のような涼しい状態になります。このような気温の特徴が形成される原理の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- 季節風の影響で夏は冷たく湿った風が吹き込み、冬は乾燥した温かい風が吹き込むから
 - 寒流の影響を強く受けるため夏でも気温が上がらず、冬は平年並みの暖かさになるから
 - 高緯度に位置するため年間を通して太陽がほとんどのぼらず、常に氷点下の気温が維持されるから
 - 標高が高いため全体的に気温が低くなり、赤道近くのため太陽からのエネルギーの季節変化が小さいから
- 問12 オーストラリア大陸北部の沿岸部で見られる気候の特徴について、降水量の変化に注目して説明したものとして正しいものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- 回帰線付近の乾燥帯に属するため、年間を通じて雨がほとんど降らず、植生が全く見られない。
 - 南半球の夏にあたる12月～2月頃に雨季となり、降水量が集中するサバナ気候などが見られる。
 - 年間を通じて安定した偏西風の影響を受けるため、季節による降水量の変化がほとんどない。
 - 南半球の冬にあたる7月～8月頃に雨季となり、夏は乾燥する地中海性気候が広がっている。
- 問13 赤道付近に位置するある地域の気候統計において、月平均気温が一年を通じて25度から27度程度でほぼ一定であり、月間降水量が各月ともに200ミリメートルから300ミリメートル程度という極めて多い数値を示している気候区分を選択してください。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- サバナ気候
 - 熱帯雨林気候
 - 温暖湿潤気候
 - 地中海性気候

答え合わせ・解説

問1	答え 4 一年の中に降水の少ない乾季が存在し、樹木が密集して成長することが制限されるため	サバナ気候と熱帯雨林気候の最大の違いは、降水量の季節的な偏りです。サバナ気候には数ヶ月にわたる乾季があり、植物が水分を十分に得られない時期があるため、樹木が密生する森林ではなく、乾燥に耐える樹木が点在する草原という形になります。熱帯雨林は一年中多雨であるため、うっそうとした森林が維持されます。
問2	答え 4 床を高くすることで風通しを良くし、地面からの湿気の影響をやわらげる工夫	熱帯の高湿多湿な環境では、暑さへの対策だけでなく、湿気による不快感や建物の腐食、害虫などを防ぐことが重要です。床を高く作る「高床式」の住居にすることで、床下の空間を風が通り抜け、湿気がこもるのを防ぐとともに、室内の温度上昇を抑えることができます。これは乾燥帯で見られる石造りの住居などとは異なる、気候に適応した人々の暮らしの知恵です。
問3	答え 4 寒帯	樹木が成長するためには、夏季の気温がある程度上昇する必要があります。具体的には、最も暖かい月の平均気温（最暖月平均気温）が10度以上であることが森林形成の条件とされています。この条件を満たさない高緯度地域や標高の極めて高い地域は寒帯に分類され、樹木が見られない景観が特徴となります。
問4	答え 4 唯一神アッラーを信仰し、聖典コーランに基づいた生活文化が根付いている。	西アジアや北アフリカの国々の多くは、イスラム教を共通の文化的背景として持っています。一神教であるイスラム教では、神アッラーの言葉を記した聖典コーランが、礼拝や食事の決まりなど、人々の具体的な生活様式まで規定している点が特徴です。
問5	答え 1 経済発展に伴い、インドなどから多くの外国人労働者が流入しているため	アラブ首長国連邦では、石油による収益を背景とした都市開発やインフラ整備のために、国外からの労働力を必要としてきました。特に地理的に近く、人口の多いインドからの移住者が多いため、ヒンドゥー教徒の割合が高くなっています。このように、労働力の移動がその国の宗教構成に大きな影響を与える事例として重要です。
問6	答え 1 かつての宗主国とその植民地という歴史的な関係があり、独立後も言語や経済面での結びつきが維持されているため	アフリカの多くの国々は、かつてヨーロッパ諸国の植民地支配を受けていました。統治を行っていた国を「宗主国」と呼びますが、独立後も公用語として宗主国の言語が使われ続けたり、貿易や経済協力において旧宗主国が主要なパートナーとなったりする傾向があります。これは植民地時代に整備されたインフラや教育制度、経済の仕組みが独立後も大きな影響を与えているためです。
問7	答え 1 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、湿った空気が流れ込む時期と乾燥した空気が流れ込む時期が分かれるため、雨季と乾季が生じる。	タイなどの東南アジア諸国では、季節によって吹く方向が変わる季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。これにより、海側から湿った空気が運ばれてくる「雨季」と、大陸側から乾燥した空気が運ばれてくる「乾季」が明確に分かれます。バンコクはこの特徴が顕著なサバナ気候に属しています。
問8	答え 4 イスラム教	パキстанは西アジアに隣接し、歴史的にイスラム教との結びつきが非常に強い国です。イスラム教は唯一神アッラーを信仰し、西アジアから北アフリカ、さらには東南アジアのインドネシアなどへ広まりました。統計資料においてイギリス（約4.4%）や中国（約1.8%）と比較して、パキスタンのように信者率が90%を超える国があることは、この宗教の地域的な偏りを示す大きな特徴です。
問9	答え 1 夏の乾燥に強いオリーブやブドウ、オレンジなどの果樹栽培を行う。	地中海性気候の地域では、夏の乾燥に耐えられるように葉が硬くて小さい樹木や、根を深く張る果樹の栽培が適しています。そのため、オリーブ、ブドウ、コルクがし、柑橘類などの栽培が盛んです。一方、比較的雨の多い冬には小麦を栽培するといった、季節ごとの気候の特色に合わせた「地中海式農業」が営まれています。
問10	答え 2 一年の中で最も平均気温が高い月と、最も低い月の気温の差のこと。	北半球の高緯度大陸部に広がる冷帯（亜寒帯）は、海洋の影響を受けにくい地点が多く、夏と冬の気温差が極めて大きくなります。この一年の気温の変動幅を「年較差」と呼び、冷帯を定義する大きな特徴の一つとなっています。これに対し、一日の気温の変化は「日較差」と呼びます。
問11	答え 4 標高が高いため全体的に気温が低くなり、赤道近くのため太陽からのエネルギーの季節変化が小さいから	標高が高くなると全体的に気温が低くなります。さらに、赤道付近は年間を通して太陽から受けるエネルギー量の変化が小さいため、1年を通じて気温の変化が少ない涼しい状態が保たれます。
問12	答え 2 南半球の夏にあたる12月～2月頃に雨季となり、降水量が集中するサバナ気候などが見られる。	オーストラリア北部は低緯度の熱帯地域に属しています。南半球の夏（12月～2月頃）には赤道付近の湿った空気が流れ込むため雨季となりますが、冬には乾燥した風の影響で乾季となります。このように明瞭な雨季と乾季があるのが特徴です。一方、地中海性気候は大陸南西部のバース周辺などに分布しています。
問13	答え 2 熱帯雨林気候	赤道直下の地域では、一年中太陽の高度が高いため、常に強い日射を受けます。このため、季節による気温の変化（年較差）がほとんどなく、常に高温となります。また、強い日射によって上昇気流が発生しやすいため、スコールと呼ばれる激しい雨が毎日のように降り、年間を通じて多雨となるのが特徴です。